

かながわから 「頼り合える社会」を つくるために

2017. **11.11.土**湘南国際村センター（葉山町）
1,000円（資料代）／50名（先着順）

< モデレーター・趣旨説明 >

知らんがな社会から頼り合える社会へ

～“自分ごと”として共感の領域を創り出すには～

井手 英策（慶應義塾大学教授）

『財政から読みとく日本社会—君たちの未来のために』『18歳からの格差論』著者

日本では世帯所得が減りつづけ、中間層がやせ細り、低所得層化がはっきりと進んでいます。だれもが追い詰められるなか、弱者を切り捨てるだけでなく、切り捨てられた弱者が、さらに弱い者たちを差別する、そんな見るに堪えない社会になり始めています。だれもが犠牲者になり、そのなかでさらなる加害者と犠牲者が生まれる社会。弱者に対する優しさが失われ、不安を抱える者同士が傷つけ合う分断社会。そんな悲しい現実が、いま、私たちの目前に迫っています——

今年度の21世紀かながわ円卓会議では、シリーズ第1弾となる6月17日の講演会で基調講演として井手英策さんに「人間の顔をした財政を取りもどす～『頼り合える社会』をめざして～」というテーマでお話いただきました（財団HPに概要掲載／http://www.kifjp.org/ace/round_table）。そこで、今回のシンポジウムでは、井手さんをモデレーターとしてお迎えして、県内で活動されているさまざまな分野の討議者の方々、そして参加者のみなさんとともに、「『頼り合える社会』とは？そのために地域社会において共感の領域をつくりだすには？」について考えます。

* * *

人間の顔と顔が見えやすい社会で痛みと喜びをわかちあい、おたがいが共感しあう領域をつくっていくのです。・・・地域社会のなかに共感の領域をつくりだし、その延長線上へと「私たち」の領域を押しひろげていくことが大切です。国の税金を使って困っている人々をささえるやさしさは、身近な社会での共感の先にあると思いませんか。

～井手英策『財政から読みとく日本社会—君たちの未来のために』（岩波ジュニア新書・2017年発行）より

ディスカッションを行う討議者の方々(予定)

加藤忠相	株式会社あおいけあ代表取締役／NPO法人ココロまち理事長	原 美紀	NPO法人びーのびーの事務局長／港北区地域子育て支援拠点どろっぶ施設長
名里晴美	社会福祉法人訪問の家理事長	府川悟志	小田原市市民部地域政策課長
馬場拓也	社会福祉法人愛川舜寿会ミノワホーム常務理事	裴 安（べいあん）	NPO法人かながわ外国人すまいサポートセンター理事長
早川仁美	地域のお茶の間研究所さろんどて代表	三浦 知人	社会福祉法人青丘社 事務局長

【主催】公益財団法人かながわ国際交流財団

【共催】神奈川県／一般社団法人インクルージョンネットかながわ／NPO法人ココロまち／NPO法人外国人すまいサポートセンター／NPO法人びーのびーの

【協力】神奈川県立保健福祉大学(地域貢献研究センター)／NPO法人まちづくり情報センターかながわ／七里が丘子ども若者支援研究所

【後援】社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会／公益社団法人神奈川県社会福祉士会／公益社団法人かながわ福祉サービス振興会／一般社団法人神奈川県介護支援専門員協会／神奈川新聞社／神奈川県弁護士会

【プログラム】 9:45～受付開始

- 10:15 開会挨拶 榊山紘一(21世紀かながわ円卓会議・運営委員)
 <第Ⅰ部> 「頼り合える社会」をめざして
- 10:20 モデレーター趣旨説明／井手英策(慶應義塾大学経済学部教授)
 「知らんがな社会から頼り合える社会へ～“自分ごと”として共感の領域を創り出すには～」
 (11:00～11:40 討議者とのディスカッション)
- 12:00 シンポジウム会場内にて昼食(5名程度のテーブルにて参加者同士で意見交換)
- 12:50 運営委員他からのコメント／各テーブルからの質問
 13:30 井手さんからのコメント (13:55～14:10 コーヒーブレイク)
- <第Ⅱ部> 「頼り合える社会」という共感を地域から創り出すために
- 14:10 事例報告「地域の共感を創り出すために～子育て支援の場から広がる当事者意識～」
 原 美紀(NPO 法人びーのびーの／港北区地域子育て支援拠点どろっぷ)
 (14:40～15:10 討議者とのディスカッション)
- 15:10 参加者同士のグループワーク～当事者意識で「頼り合える社会」をつくる～
 15:40 各テーブルからの発表
- 16:00 モデレーター総括
 16:20 閉会

モデレーター：井手英策(いで・えいさく)
慶應義塾大学経済学部教授

1972年福岡県久留米市生まれ。95年東京大学経済学部卒業。2000年東京大学大学院経済学研究科博士課程修了。日本銀行金融研究所、東北学院大学、横浜国立大学を経て現職。専門は財政社会学。著書に『経済の時代の終焉』(岩波書店)、『18歳からの格差論』(東洋経済新報社)、『分断社会ニッポン』(共著、朝日新聞出版)、『財政から読みとく日本社会』(岩波ジュニア新書)他。

最新刊は『大人のための社会科—未来を語るために』(共著、有斐閣)。2015年度大佛次郎論壇賞、2016年度慶應義塾賞を受賞。

【申込み】メールまたはFAXにて、氏名、所属、住所(市町村名まで)、メールアドレス等をお書きの上、11月7日(火)までにお申し込みください(先着順)。定員(50名)を超えた場合にはお申込みをお断りさせていただきますので、ご了承ください。

【申込先】メール：entaku@kifjp.org FAX：046-858-1210

【お問合せ】TEL：046-855-1821 公益財団法人かながわ国際交流財団 湘南国際村学術研究センター(清水・西山)

【会場アクセス】湘南国際村センター・国際会議場 <http://www.shonan-village.co.jp/access.html>

- ・JR 逗子駅前または京急新逗子駅前、いずれも1番バス乗り場より「葉山大道経由～湘南国際村(逗16)」もしくは「三浦半島中央道路経由～湘南国際村センター(逗26)」行き利用で約20～30分。「湘南国際村センター前」下車。料金は片道350円
- ・京急汐入駅前、2番バス乗り場より「湘南国際村(汐16)」行き利用で約30分。「湘南国際村センター前」下車。料金は片道380円。

※YCAT(横浜駅)からの高速バス <http://www.ycat.co.jp/route/yokosuka/>

- ・YCAT 発8:55 → 湘南国際村センター前着9:37。座席数約60席／所要時間約45分／料金は片道920円。

ふりがな 氏名		所属	
住所	(※市町村名までで結構です)	電話 FAX	電話 FAX
メールアドレス			
昼食 申込み	昼食はシンポジウム会場内にて食べていただくようお願いいたします。お弁当(1,200円)をご希望される方はチェック☑をご記入ください(申込み締切り10月31日)。お弁当代は当日、受付にて参加費(1,000円)とともにお支払いください。なお昼食はご持参いただいても結構です。 <input type="checkbox"/> お弁当(1,200円)を希望する		
井手英策さんへの質問 (任意)	※財団HPに円卓会議シリーズ①講演会(6/17開催)の講演概要とパネルディスカッション発言概要が掲載されています。 URL： http://www.kifjp.org/ace/round_table		
◆このシンポジウムのことをどこでお知りになりましたか？			

※今回のシンポジウムお申込みにあたってご記入いただいた個人情報は当財団のみが取扱い、本シンポジウムの事務連絡以外の目的には使用いたしません。

【21世紀かながわ円卓会議運営委員会】(五十音順)

小川泰子(社会福祉法人いきいき福祉会理事長)

榊山紘一(印刷博物館館長／東京大学名誉教授)

黒田玲子(東京理科大学研究推進機構総合研究院教授／東京大学名誉教授)

高島肇久(株式会社海外通信・放送・郵便事業支援機構取締役会長)

林 義亮(神奈川新聞社取締役編集・NIE担当論説主幹)